

製品名: ROS1 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM86099**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:2000,IHC 1:200-1:400
分子量	263.9kDa

抗原情報

遺伝子名	ROS1
別名	Proto-oncogene tyrosine-protein kinase ROS, 2.7.10.1, Proto-oncogene c-Ros, Proto-oncogene c-Ros-1, Receptor tyrosine kinase c-ros oncogene 1, c-Ros receptor tyrosine kinase, ROS1, MCF3, ROS
遺伝子 ID	6098.0
SwissProt ID	P08922
免疫原	この ROS1 抗体は、ヒト ROS1 の組み換えタンパク質で免疫化されたマウスから生成されます。

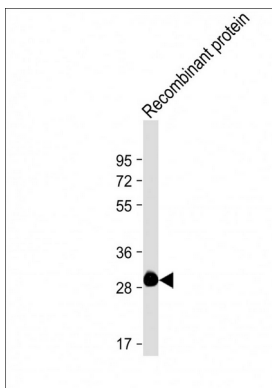
背景

精巢上体近位部上皮の分化および領域化に関与するオーファン受容体チロシンキナーゼ (RTK)。PI3 キナーゼ-mTOR シグナル伝達経路を含む、細胞分化、増殖、成長、生存に関連する複数の下流シグナル伝達経路を活性化する可能性があります。この経路の活性化因子である PTPN11 のリン酸化を媒介します。また、転写因子 STAT3 をリン酸化および活性化し、足場非依存性細胞増殖を制御する可能性があります。細胞形態を制御するグアニンヌクレオチド交換因子である VAV3 のリン酸化および活性化を媒介します。AKT1、MAPK1、MAPK3、IRS1、PLCG2 などの他の下流シグナル伝達タンパク質を活性化する可能性があります。

研究分野

-

画像データ



抗 ROS1 抗体 (1:4000 希釈) + 組換えタンパク質